



都市を間伐する ように

都市に詰まった建物が抜けていく。木を減らすことが他の木々を強くするように。これまでの建物が減ることで、これからのまちの環境が良くなっていく。森の木々が次に生まれる木を育むように、水の周りでの活動をきっかけとして、建物やまちの賑わいが増え、なくなることでつくられる、そんな豊かさを生み出す提案。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

01 高密度な都市環境

逃げ場のない雨
余剰な「床」/不足する「場」

01 『間伐』による空地の形成

成熟する都市へ

02 『蓄雨』による貯水槽の形成

都市部に於ける『蓄雨』の必要性

03 『浸水』から『親水』へ

風を抜く道の形成
浸透する地面の表出

04 きっかけとなる水盤

既存地下ピットを活用した貯水槽を都市に表出させるように水盤が地表に現れる。そこに、視界や風が抜けるだけでなく、隣地境界線として扱えられなくていい、場が繋がっていく。

05 水盤の周囲にできる環境システム

i. 水盤からの高効率効果
ii. クールビットによる熱負荷軽減
iii. 給水ダクトによる冷却効果
iv. 雨水利用による緑のフレーム
v. 水盤を照らす発電システム

06 強度のある都市へ水がつくるネットワーク

時間により増殖する水のネットワークと人の活動
建物の跡地につくられる水盤は時間の変化に伴い、都市の中で増殖する。蓄雨効果により災害に耐える都市へ、また同時に人の活動を許容する柔軟な都市へと成熟する。

